

はしおか協美 議会報告



議会報告会
2011.12.18

佐倉市議会議員(1期)常任福祉委員会委員 決算特別委員会委員
皆様のご意見を代弁し、市政に反映して参ります。

11月定例会では ①迷惑防止条例のポイ捨て防止対策
②ペットボトルのリサイクルをはじめゴミの減量化と資源化、最終処分場の延命
③新規就農者・農業従事者対策、観光振興、親子近居支援による定住人口・税収 up
について、議会で一般質問をし、市政の問題点の指摘や要望をいたしました。
さくら会提出意見書 羽田空港離着陸機の騒音軽減に関する意見書を国交省へ



佐倉市の除染対策のその後は？

佐倉市除染対策優先順位

(1) 最も優先して対策を実施する施設

千葉県又は佐倉市がエネルギー補償型シンチレーション式サーベイメータで行った測定結果(以下「測定結果」という。)により、子どもが多く且つ長時間利用する保育園、幼稚園、小学校、中学校等のうち、対策目標値(1時間あたり $0.223 \mu\text{Sv}$)を超える値が検出された別表1に掲げる施設について、詳細調査を実施し、必要に応じた対策を講じます。

佐倉市放射性物質目標は、推定年間被ばく線量が1ミリシーベルトに近づくことを目指し、子どもの生活圏(学校、公園)の推定年間被ばく線量が一日も早く1ミリシーベルトを下回ることを目指します。

入札が完了次第、除染工事を始めます。
工事前には、近隣への回覧板等による広報、
工事にあたっては、安全対策を要望しました。

①自然放射線量 $0.033 \mu\text{Sv}$ 市原(H21中間値)	②追加被ばく線量 $0.19 \mu\text{Sv}$
--	---------------------------------

年間1ミリシーベルト以下

合計: $0.223 \mu\text{Sv}$ マイクロシーベルト/時

- ① 自然被ばく線量: $0.033 \mu\text{Sv}/\text{時}$
 $0.033 \mu\text{Sv}$ は千葉県環境センター市原のモニタリングポスト平成21年度測定値の
最小値 $0.022 \mu\text{Sv}$
最大値 $0.044 \mu\text{Sv}$ の中間値
② 1時間当たり追加被ばく線量: $A (= 0.19 \mu\text{Sv})$

1日屋外で8時間、屋内で16時間過ごし、更に屋内での被ばく線量は屋外の40%と仮定すると、1日当たり追加被ばく線量は($A \times 8 + A \times 16 \times 0.4$)となり、1年間(365日)の追加被ばく線量を $1 \mu\text{Sv}$ ($1000 \mu\text{Sv}$)とすると

$$(A \times 8 + A \times 16 \times 0.4) \times 365 \text{ 日} = 1000 \mu\text{Sv}$$
$$\rightarrow A = 1,000 \div 365 \div (8 + 16 \times 0.4) \approx 0.19 \mu\text{Sv}$$
$$\therefore 1\text{時間当たりの対策目標値}$$
$$(①+②): 0.033 + 0.19 = 0.223 \mu\text{Sv}$$
$$1\text{時間当たりの追加被ばく線量}: 0.19 \mu\text{Sv}$$

対策最優先施設一覧表

種別	施設名
保育園	臼井保育園、北志津保育園、民間保育園(6園)
幼稚園	私立幼稚園(3園)
小学校	志津小学校、南志津小学校、王子台小学校、青苔小学校、臼井小学校、小竹小学校
中学校	志津中学校、臼井中学校、西志津中学校
その他	北志津児童センター、臼井老幼の館、民間学童保育所(2施設)

対策優先施設一覧表

種別	施設名
公園	上座総合公園、宮ノ杜公園、青苔大塚公園、北門原公園、南門原公園、前野公園、木ノ宮公園、遠山街区公園、長作西公園、間野台公園、八幡台一号公園、八幡台三号公園、子ノ神公園、井野西谷津公園、井野南作公園、外山東公園、井野ふれ愛公園、加賀清水公園、元気一番公園、江原台1号公園、江原台2号公園、江原台3号公園、長作東公園、八幡台五号公園、寺前南公園、浜田公園、新堀公園、忍公園、石神公園、大林公園、生谷公園、うすい東が丘公園、白井作南公園、小竹原ヶ作公園、原ヶ作南公園、萱橋公園、古山公園、南中野公園、上志津原街区公園、矢橋台南公園、遠間作公園、ねむのき公園、ユーカリが丘北公園、ユーカリが丘南公園、七井戸公園、宿内公園、臼井城址公園、上谷津公園

副市長2人制についての市長見解

市債を減らし(H23年度末▲70億/5年)、財政調整基金を増やした(H19-20億→H23末356億)が、福祉、老朽化した道路・下水道を延命させ修繕に膨大なお金が必要であり(道路600キロの内500キロ修繕要で、1億円/キロ)また、地方分権一括法が成立し、地方分権が進む中、佐倉市の将来の青写真を描くための人と部署が必要である。少子高齢化の中、5年後、10年後その先持続可能な社会をつくり将来の資金需要に耐えるため、優良企業誘致による法人市民税の增收、雇用拡大を目指したい(1企業につき2~3億增收と)市長の10年後の目標歳入100億円増!?

市長の施策の第1は、福祉であるが、将来に禍根を残さないように、あの時にやっておけばよかつたとならないように守りから戦略をたて前にすすめる..

副市長給料の1400万円は歳入増目標100億円を生むためのものとなるようしっかりとチェックしていきます。

はしおかきょうみ

佐倉市議会議員 橋岡協美

佐倉市ユーカリが丘4-1-E3101

TEL 080-4079-3101 FAX488-3553

はしおか協美 検索 クリック